

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

【研究4】 「PDCAサイクルに沿った通いの場の取組を推進するための自治体向け手引き」
の作成

研究分担者	野藤 悠	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員
研究分担者	清野 諭	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 主任研究員
研究分担者	植田 拓也	東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 副センター長
研究協力者	倉岡 正高	東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター グループ統括
研究協力者	森 裕樹	東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 研究員
研究協力者	根本 裕太	東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 非常勤研究員
研究分担者	小宮山 恵美	厚生労働省 国立保健医療科学院 主任研究官
研究分担者	北村 明彦	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 非常勤研究員
研究分担者	山田 実	筑波大学人間系 教授
研究分担者	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター 理事長
研究代表者	藤原 佳典	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長

研究要旨

本分担研究では、分担研究1～3及び令和3年度に実施した「通いの場等の取り組みを評価する枠組み」の改良結果を踏まえて、「PDCAサイクルに沿った通いの場の取組を推進するための自治体向け手引き」を作成することを目的とした。令和3年度に改良した「通いの場等の取り組みを評価する枠組み」について、編集者との議論を経て構成や文言を修正し、手引きを作成した。本枠組みの通称として、通いの場等の取組を推進する上での各局面の英訳下線部（理解：Comprehension、調査・計画：Research and Plan、体制・連携：Team Building and Collaboration、実施：Implementation、評価：Evaluation、調整・改善：Addjustment of Plans and Processes）を並び替え、ACT-RECIPE（アクトレシピ）を用いることとした。適用可能性とPDCAサイクルに沿った通いの場の取組の実施状況を検討するため、本研究フィールドである東京都八王子市及び豊島区を含む51自治体の介護予防事業担当者から、ACT-RECIPEの各項

目について回答を得た。その結果、多くの自治体で「理解」～「実施」局面までの達成度は比較的高値を示したものの、「評価」および「調整・改善」の局面の達成度は不十分であることが示された。今後、本手引きを活用した広報や研修等を通して、PDCAサイクルに沿った取組が全国で一層推進されるよう支援していく必要がある。

A. 研究目的

本分担研究では、研究代表者らが令和2年度老人保健健康増進等事業で提案した「通いの場等の取組を評価する枠組み」¹⁾の適用可能性を検証し、自治体向け手引きを作成することを目的としている。

令和4年度は、令和3年度に改良した枠組みについて手引きを執筆した。また、ベースライン調査を実施した東京都八王子市および豊島区を含む29の自治体担当者から、本枠組みの適用可能性に関する意見を聴取し、本枠組みを修正した。

B. 研究方法

令和3年度に改良した「通いの場等の取り組みを評価する枠組み」について、編集者との議論を経て構成や文言を修正し、手引きを作成した。本枠組みの通称として、通いの場等の取組を推進する上での各局面の英訳下線部（理解：Comprehension、調査・計画：Research and Plan、体制・連携：Team Building and Collaboration、実施：Implementation、評価：Evaluation、調整・改善：Addjustment of Plans and Processes）を並び替え、ACT-RECIPE（アクトレシピ）を用いることとした。

適用可能性とPDCAサイクルに沿った通いの場の取組の実施状況を検討するため、本研究フィールドである東京都八王子市および豊島区を含む51自治体の介護予防事業担当者から、ACT-RECIPEの各項目について回答を得た。

C. 研究結果

図1に、最終的に完成した「通いの場等の取組を評価する枠組み（ACT-RECIPE）」のコア項目と小項目を示した。また、本枠組みをもとに、自治体向け手引き（図2）を完成させた。

自治体のPDCAサイクルに沿った通いの場の取組の実施状況を把握するため、本研究フィールドである東京都八王子市および豊島区を含む51自治体の介護予防事業担当者から、ACT-RECIPEの各項目について回答を得た。その結果、各項目の達成率は、「理解」で67.7%、「調査・計画」で49.5%、「体制・連携」で52.5%、「実施」で50.8%、「評価（プロセス）」で42.1%、「評価（アウトカム）」で14.1%、「調整・改善」で40.2%であった。

D. 考察

本分担研究では、「通いの場等の取組を評価す

る枠組み（ACT-RECIPE）」を完成させ、自治体向け手引きを公表した。このACT-RECIPEの各項目の達成状況を調査したところ、多くの自治体で「理解」～「実施」局面までの達成度は比較的高値を示したものの、「評価」および「調整・改善」の局面の達成度は不十分であることが示された。

自治体を対象とした調査では、特に通いの場等の取組の効果評価が進んでいない実態があらためて浮き彫りとなった。この理由として、評価まではとても手が回らない自治体職員の現状（多忙さ）や評価の必要性の認識が職種によって異なる可能性なども考えられる。その他、事業や取組の効果（因果関係）を明示するには、1) 調査ID等で個人を識別可能な調査（質問紙調査や体力測定等）を実施していること、2) 同一の指標を用いて、経年的な調査を実施していること、3) 事業の参加者と非参加者とを識別できること、が必須条件となる。これらが満たされていないことが、評価が進まない根本的な要因ではないかと考えられる。

以上のような3つの条件が標準化されれば、大学・研究機関が、自治体が調査したデータの受け皿となって通いの場の効果検証を進めることも可能となる。また、人口規模の小さな自治体や調査対象者数が限定的（単独の自治体では効果評価が困難）な場合に、複数自治体のデータをプール・結合して評価するという選択肢も生まれる。さらには、全国のデータを、セキュリティを担保したうえで自動的に蓄積して効果評価し、各自治体にフィードバックするようなシステム化を図ることも考えられるだろう。このような仕組みは、自治体の介護予防事業担当者の評価に係る負担を大きく低減することにもつながるのではないかと考えられる。

E. 結論

本分担研究では、自治体の様々な実情を考慮した評価の枠組みと、通いの場等の取組をPDCAサイクルに沿って推進するための手引きが作成された。今後は、全国の自治体における本枠組みの採用度や適切性、持続可能性等についてさらに検証していく必要がある。また、自治体への広報や職員向け研修等を通して、PDCAサイクルに沿った取組が全国で一層推進されるよう支援していく必要がある。

F. 引用文献

- 1) 令和2年度老人健康増進等事業「通いの場の効果検証に関する調査研究事業（代表：藤原佳典）」. 2021.
https://www.tmg Hig.jp/research/info/cms_upload/f37ff63644acb96546e178a71cd5b377.pdf.

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
 - 1) 清野 諭 PDCAサイクルにもとづく多様な通いの場の推進と評価. 自主企画フォーラム3「住民主体の多様な通いの場とは：学際的な意義と課題」日本老年社会学会第64回大会. 2022.7.2-3.
 - 2) 清野 諭・野藤 悠 自治体の介護予防の取り組みを支援する研究者の立場から. 地域社会における真の健康支援の実現に向けた官・産・学の取り組みと展望. 第24回日本健康支援学会年次学術集会. 2023.3.5-6.

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

PLAN(計画)

ACT-RECIPE

フェーズ	コア項目	小項目(当てはまる項目に✓)
理解	①地域づくりによる介護予防の背景を理解している	<input type="checkbox"/> 1 介護予防・フレイル予防の要点を理解している <input type="checkbox"/> 2 介護予防・フレイル予防の要点を住民や関係者に説明できる <input type="checkbox"/> 3 通いの場の必要性を理解している <input type="checkbox"/> 4 通いの場の必要性を住民や関係者に説明できる
	②調査結果等から地域の強みと弱み、通いの場の現状を把握している	<input type="checkbox"/> 1 少なくとも数年に1度程度、地域診断の際に調査(ニーズ調査等)を活用している <input type="checkbox"/> 2 地域にある通いの場の実施状況(場の数、活動頻度、内容、運営者等)を把握している <input type="checkbox"/> 3 通いの場の参加者の状況(性別、年齢層、健康状態、要支援・要介護認定者の参加の有無等)を把握している <input type="checkbox"/> 4 地域の強みと弱みを把握している
調査・計画	③重点課題を明確にし、課内で共有している	<input type="checkbox"/> 1 通いの場に関係する地域の弱み(問題点)を洗い出している <input type="checkbox"/> 2 重点的に取り組むべき課題(重点課題)を決めている <input type="checkbox"/> 3 上記を課内で協議・共有している
	④重点課題の解決に向けた実施計画・目標値を策定している	<input type="checkbox"/> 1 重点課題に対する取組内容を策定している <input type="checkbox"/> 2 取組の年間計画を決めている <input type="checkbox"/> 3 取組の目標や目標値を設定している <input type="checkbox"/> 4 役所内の他事業とどのように連動させるかを整理している <input type="checkbox"/> 5 連携が必要な機関・組織を整理している <input type="checkbox"/> 6 上記を課内で協議・共有している
	⑤評価計画(いつ、誰が、何を、どのように評価するか)が明確である	<input type="checkbox"/> 1 体制・連携や取組の実施状況の評価方法を決めている <input type="checkbox"/> 2 取組による直接の成果(通いの場の数や参加者数等)の評価方法を決めている <input type="checkbox"/> 3 取組による効果の評価方法を決めている

DO(実施)

体制・連携	⑥重点課題の解決に必要な行政内外の機関・組織と連携している	<input type="checkbox"/> 1 行政内の他部署・支局(出張所等)と連携している <input type="checkbox"/> 2 他機関と連携している <input type="checkbox"/> 3 職能団体と連携している <input type="checkbox"/> 4 住民組織と連携している
実施	⑦重点課題の解決に必要な取組を実施している	<input type="checkbox"/> 1 支援者・ボランティアの養成、スキルアップを行っている <input type="checkbox"/> 2 通いの場の立ち上げ支援を行っている <input type="checkbox"/> 3 通いの場の継続支援を行っている <input type="checkbox"/> 4 住民の参加を促す取組を行っている <input type="checkbox"/> 5 他事業と連携している <input type="checkbox"/> 6 保健事業と介護予防の一体的実施を行っている <input type="checkbox"/> その他の取組を実施している()

CHECK(評価)

評価	⑧通いの場事業を評価している	<input type="checkbox"/> 1 体制・連携を評価している <input type="checkbox"/> 2 取組の実施状況を評価している <input type="checkbox"/> 3 直接の成果を評価している
	⑨通いの場の効果を評価している	<input type="checkbox"/> 1 通いの場の参加者を対象にした調査・評価を随時行っている <input type="checkbox"/> 2 高齢者全体を対象に、個人を識別した調査を、少なくとも数年に一度実施している <input type="checkbox"/> 3 個人を識別した調査において、通いの場の参加者と非参加者を識別できる <input type="checkbox"/> 4 個人を識別した調査データ(通いの場の参加状況やアンケートデータ等)と医療・介護保険情報等を結合できる

ACTION(改善)

調査・改善	⑩課題解決に向けた計画、体制、取組内容、目標値を再検討している	<input type="checkbox"/> 1 計画を再検討している <input type="checkbox"/> 2 体制を再検討している <input type="checkbox"/> 3 取組内容を再検討している <input type="checkbox"/> 4 目標値を再検討している
-------	---------------------------------	---

図1. 「通いの場等の取組を評価する枠組み (ACT-RECIPE)」

地域の深み		()	
地域の弱み		<input type="checkbox"/> 運動機能低下:多 <input type="checkbox"/> 低栄養:多 <input type="checkbox"/> 口腔機能低下:多 <input type="checkbox"/> 社会参加:少 <input type="checkbox"/> その他 () ()	
通いの場の現状	数・分布	<input type="checkbox"/> 不足している地域がある <input type="checkbox"/> 全体的に不足している	
	頻度・内容	<input type="checkbox"/> 週1回未満が多い <input type="checkbox"/> 地域の弱みに対応した場が少ない	
	参加者・運営者の状況	<input type="checkbox"/> 参加率が低い <input type="checkbox"/> 新規の参加が少ない <input type="checkbox"/> 担い手不足 <input type="checkbox"/> 男性が少ない <input type="checkbox"/> ハイリスク者が少ない <input type="checkbox"/> 参加者の高齢化	
重点課題		<input type="checkbox"/> 新規立ち上げ <input type="checkbox"/> 継続支援(機能強化、参加者の拡大等) <input type="checkbox"/> その他 ()	

重点課題の課題解決に向けて		計画	実施	計画	実施	評価		
						判定	理由	
体制・連携	行政内の他部署と連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	他機関と連携							
	・地域包括支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・介護サービス事業者	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
	・保健所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・NPO法人	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
・社会福祉協議会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・協同組合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・シルバー人材センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・民間企業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・医療機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・社会福祉法人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
職能団体と連携								
・理学療法士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・管理栄養士/栄養士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・作業療法士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・歯科衛生士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・言語聴覚士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・薬剤師	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
住民組織と連携								
・住民ボランティア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・各種推進員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
・自治会・町会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(食生活改善推進員					
・老人クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	スポーツ推進員等)					
・民生委員・児童委員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
取組状況	支援者・ボランティアの養成講座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	支援者・ボランティアのスキルアップ講座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	個別相談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	専門職の定期的な関与	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	通いの場の機能強化支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	広報活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	地域ケア会議との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	総合事業サービス(サービスC等)との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	生活支援体制整備事業との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	通いの場での健康チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	通いの場での栄養指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	通いの場での口腔ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

直接の成果			短期的効果		中期的効果		長期的効果	
評価指標	目標値	達成値	評価指標	判定	評価指標	判定	評価指標	判定
<input type="checkbox"/> 通いの場の数!			<input type="checkbox"/> 運動機能!		<input type="checkbox"/> 身体機能!		<input type="checkbox"/> 幸福感!	
<input type="checkbox"/> 実施回数!			<input type="checkbox"/> 食の多様性!		<input type="checkbox"/> 低栄養!		<input type="checkbox"/> 新規要介護・要介護認定率!	
<input type="checkbox"/> 参加者数!			<input type="checkbox"/> 外出頻度!		<input type="checkbox"/> 口腔機能!		<input type="checkbox"/> 新規要介護認知症発症率!	
<input type="checkbox"/> 参加率!			<input type="checkbox"/> 社会参加!		<input type="checkbox"/> 精神的健康!		<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> その他			<input type="checkbox"/> 役割期待!		<input type="checkbox"/> フレイル!			
			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 社会的サポート・ネットワーク!			
					<input type="checkbox"/> ソーシャル・キャピタル!			
					<input type="checkbox"/> その他			

改善	地域の深み・弱み、重点課題は基本的に3年ごとに見直し・修正 目標、取組、体制は1~3年ごとに見直し・修正
----	---

図1. 「通いの場等の取組を評価する枠組み (ACT-RECIPE)」 (続き)

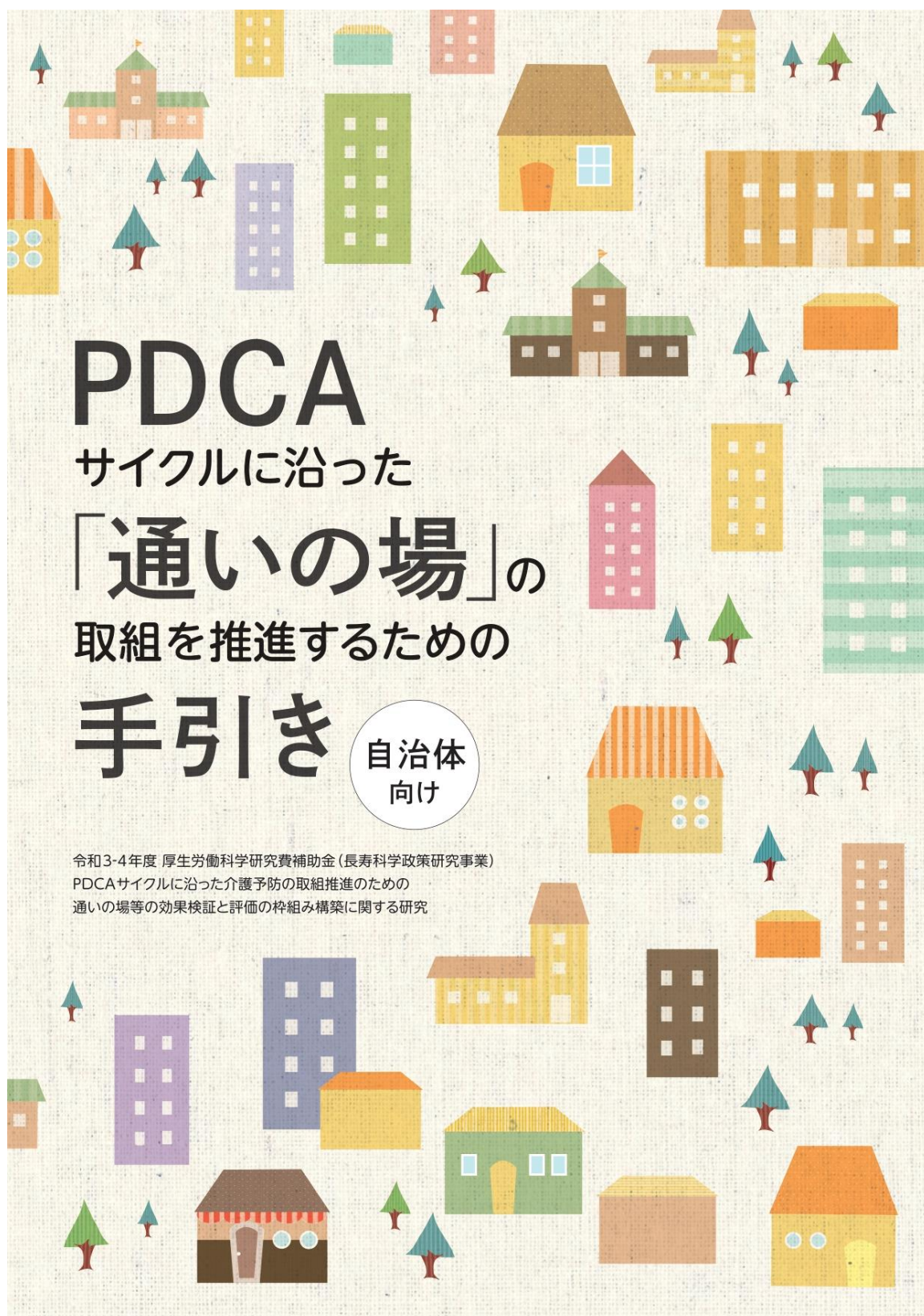


図 2. 本研究で作成した自治体向け手引き